

## なぜ『ふゆみずたんぼ』なのか

『ふゆみずたんぼ』を訪れた水鳥はたくさんの糞を水田に残します。また、冬の間に水田に残っているワラや稲株は、春にはサヤミドロなどの藻類の栄養源となるとともに、菌類やイトミミズ類などの働きで天然の堆肥に変わります。これまでの農業や化学肥料に頼りきった農法に変わって、生きものによる生産能力を高めるための取り組みが行われています。

『ふゆみずたんぼ』で収穫された米は、消費者から高い評価が得られ、多くの需要を生み出しています。さらに、生物多様性向上、水質浄化、水源涵養などの水田の多面的機能は最大に生かされ、『里山(SATOYAMA)の自然再生』に大きく貢献しています。

大崎市田尻のふゆみずたんぼ

### ◆環境 (水田の多面的機能=外部経済)

- ・生きもの豊かな湿地
- ・鳥、昆虫、水生生物など生物多様性の向上
- ・ガン、カモ、ハクチョウの採食場・ねぐら
- ・シギ、チドリ等の採食場
- ・地下水の涵養
- ・水質浄化
- ・藻類などの繁茂による酸素供給

環境

### 『ふゆみずたんぼ』で期待される効能

### ◆農業

- ・自然環境の再生や保全
- ・消費者の農業理解の向上
- ・価値の高い米の生産
- ・むら社会の維持
- ・農業に依存しない農業(害虫を食べるクモ、カエル、ツバメなどが増える)
- ・施肥効果(飛来する鳥の糞、水田生物等が微生物の働きで肥料となる)
- ・抑草効果(冬の間にゆっくりと「とろとろ層」ができることによる雑草の減少)

農業

### ●宮城県大崎市田尻の『ふゆみずたんぼ』農家への支援

宮城県北部の大崎市田尻では、秋に藪栗沼に飛来して越冬する十萬羽を超えるマガンの生息の場を確保するとともに、メダカやカエル、イトミミズなどの多様な生きものが棲息できる水田を普及する方法が検討されてきました。

平成16年度から大崎市田尻では水田の多面的機能を生かした『ふゆみずたんぼ』と『無農薬・無化学肥料』とを組み合わせた環境共生型栽培に対して支援が始まり、その後ふゆみずたんぼを行う農家を国も支援するようになりました。

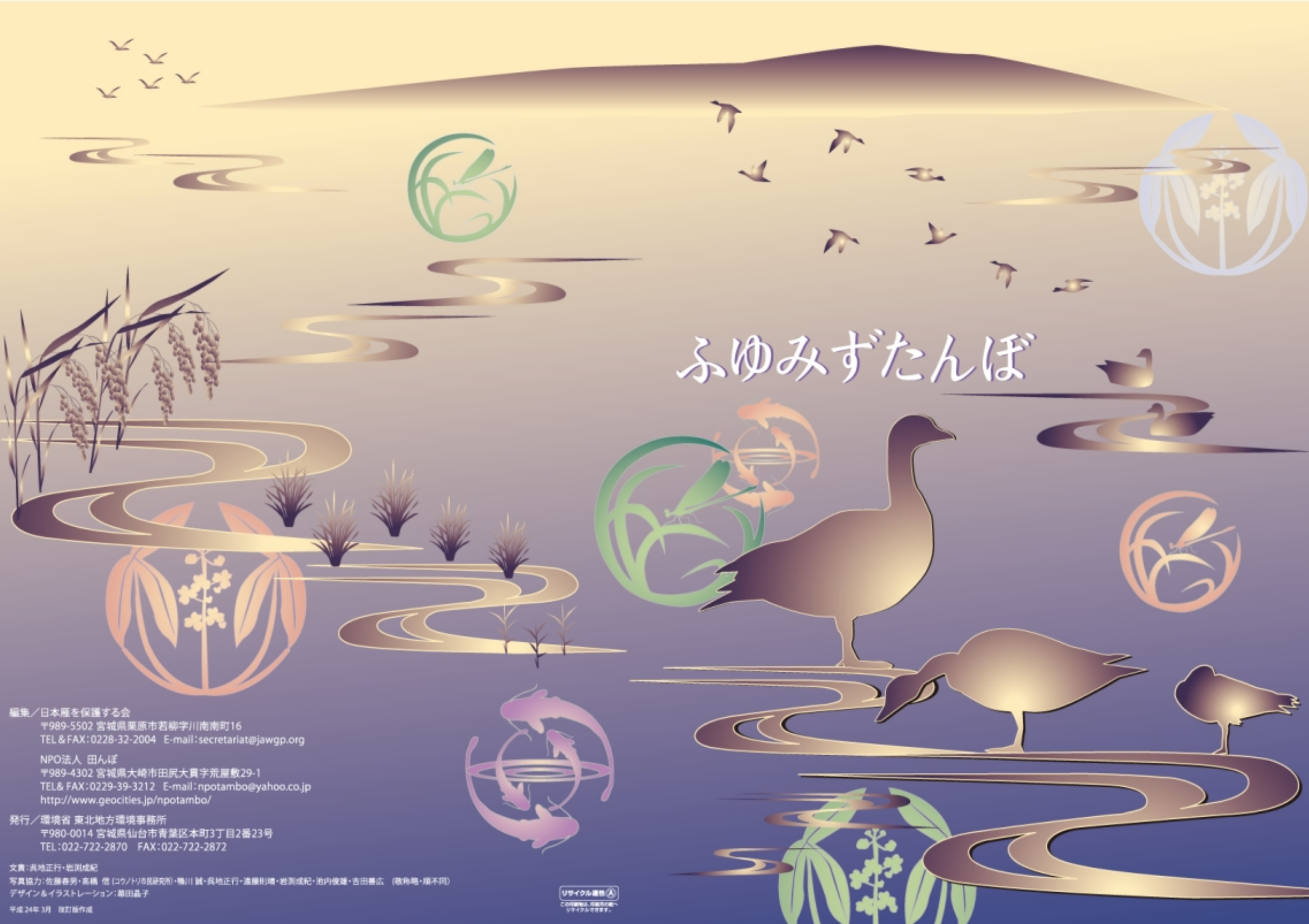
土をつくり、生きものたちを育む。

編集/日本雁を保護する会  
〒989-5502 宮城県栗原市若柳字川南南町16  
TEL & FAX: 0228-32-2004 E-mail: secretariat@jawgp.org

NPO法人 田んぼ  
〒989-4302 宮城県大崎市田尻大貫字荒屋敷29-1  
TEL & FAX: 0229-39-3212 E-mail: npotambo@yahoo.co.jp  
http://www.geocities.jp/npotambo/

発行/環境省 東北地方環境事務所  
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3丁目2番23号  
TEL: 022-722-2870 FAX: 022-722-2872

文責: 奥地正行・岩淵成紀  
写真協力: 佐藤春男・高橋 信(コウノトリの観察)、橋川 誠・奥地正行・遠藤則博・岩淵成紀・池内俊雄・吉田善広(敬称略・順不同)  
デザイン&イラストレーション: 藤田真子  
平成24年3月 改訂版作成



# ふゆみずたんぼ

冬のたんぼに水を張ったら、『ふゆみずたんぼ』

## 江戸時代(300年以上前)からあったふゆみずたんぼ

『ふゆみずたんぼ』は、古くて新しい農業技術です。実は江戸時代の『会津農書』貞享元年(1684年)の中に『田冬水(たふゆみず)』という言葉が出てきます。これは佐瀬与次右衛門が試みた当時の農業技術のひとつです。文中に『山田、里田ともにどの田へも冬に水をかけてよい。どんな川にも水路にも、川泥がまじっているからである。とりわけ町や村の排水、そのほか、くぼ地にたまった水をかけるとよい... (現代文訳)』とあります。このことから冬の間に有機成分の多い水をかけると菌類、イトミミズ・ユスリカ類など泥の中の生きものたちが増えて、生産能力が高まることをすでに体感していたことが伺われます。

今、三百年以上の時を超え、『ふゆみずたんぼ』を通じた交流が始まりました。

雪水の散りぬる風のなごりに  
穂をまき水面(みなも) 穂まみたらける  
大崎田尻のふゆみずたんぼ

冬水をかけよ同田へ  
土もくりにて仕事すかし  
鳥をよむ日本農書 貞享元年(1684) 佐瀬与次右衛門

## 国内外で行われている『ふゆみずたんぼ』

### SPAIN 「ベレローナ」って何?

スペインの地中海沿岸では、収穫を終えた全ての田んぼに、毎年11月1日になると一斉に水を入れ、翌年1月末まで『ふゆみずたんぼ』を行う『ベレローナ』という農法が200年ほど前から行なわれています。水田を含むラムサール条約湿地であるアルプフェラ湖、エプロデルタ、ベレローナの語源となったベレローナという村も含まれています。



スペイン・カタルニャの『ふゆみずたんぼ』

### JAPAN ガン、ツル、トキ、コウノトリと『ふゆみずたんぼ』

『ふゆみずたんぼ』は、渡り鳥のガンやツルには冬「ねぐら」として重要な役割を果たし、留鳥のトキやコウノトリには、冬でも魚などを取ることができる「採食地」として欠かせません。各地で数を減らしたり、絶滅してしまったこの鳥たちを甦らせようという取り組みが行われています。

トキ(新潟県佐渡)



▲コウノトリ(兵庫県豊岡市)



▲マガン(宮城県大崎市)

▲マナヅル(佐賀県伊万里市)

